

# 自家用有償旅客運送について

平成25年7月3日  
全国市長会

- 自家用有償旅客運送に関する事務・権限については、国土交通省から「地域で判断できる裁量を拡大するため、希望する市町村に移譲する。」との回答があったところ。是非、その方向で進められたい。
- 特に、移譲の目的である「地域で判断できる裁量を拡大する」ことが重要。その際には、輸送の安全を確保する視点はもとより、移動制約者等の移動を適切に確保する視点、運送者の確実で安定した運行の視点、さらには原則ボランティアであるNPO等の運送者に過重な負担をかけないという視点が欠かせない。
- 全国市長会では、「地方分権改革検討会議」委員市区長等に対し、自家用有償旅客運送に関する支障事例や改善策等について調査を実施。その結果に基づき、制度の見直しを提案するもの。
- なお、希望する市町村への移譲に際しては、運輸支局等による相談体制の確立、及び運営協議会等における積極的な連携・サポートをお願いしたい。

# 1. 自家用有償旅客運送の「必要性」について

## (1) 現状

- ・ 地域における移動制約者等の輸送需要に対し、タクシ－事業者等公共交通機関では供給が賅いきれないという「必要性」について、運営協議会において合意することが必要。しかし、この「必要性」を判断する際、潜在需要（外出をあらかじめ回数等）をどのように算入するかなどによって「必要な供給量」に幅があるなどから、需要の見込みに対してタクシ－事業者側の理解が得られにくい状況。
- ・ 地域のNPO法人が高齢者の通院のための事業を行おうとして、車両を購入し試験的に無料での運行まで実施したが、タクシ－事業者との調整がつかず、事業化を断念した地域もあり。

## (2) 見直しの方法

移動制約者等の移動を確保するという福祉的な意味合いが大きいものであることから、「必要性」の判断の基礎となる「必要な供給量」の数量的データは、最大に見込んだ数値を使用すべきであることを明確にする。

## (3) 見直された場合の効果

必要な供給量の最大値が「必要性」の基礎となれば、地域運営協議会における協議の円滑化が図られ、必要以上に時間を費やすことがなくなり、移動制約者等に対する運送提供が早期に行えるようになる。

## 2. 福祉有償運送、過疎地有償運送における「対価」について

### (1) 現状

自家用有償旅客運送者が利用者から收受する対価は、「タクシーの上限運賃（ハイヤーを除く。）のおおむね2分の1の範囲内であること。」等の規定があるため、運送に必要な経費を確保することが難しく、事業継続、ニーズに応じた事業量の拡大、新規参入の障壁に。

### (2) 見直しの方法

「おおむね2分の1の範囲内であること」との規定を削除するなど、対価に係る規定を、適正に算定された必要経費を確保できるよう見直す。

### (3) 見直された場合の効果

対価の規定が見直されれば、必要経費を適切に確保することができるようになり、運送者の運営が安定するとともに、必要に応じた事業拡大、新規参入が促進され、移動制約者等の移動を確保することができるようになる。

### 3. 過疎地有償運送における「旅客名簿」について

#### (1) 現状

過疎地有償運送において、旅客名簿を作成して事務所に備えておくこととされているが、過疎地域の住民全体が名簿登録対象者であるため、説明会等を開催して名簿登録を依頼したが、理解が進まず登録してもらえない住民がいるなど、名簿作成に多大な労力が必要。

#### (2) 見直しの方法

過疎地有償運送の旅客のうち、当該区域の住民については、市町村運営有償運送と同様に旅客名簿の作成を不要とする。

#### (3) 見直された場合の効果

対象となる過疎地の全住民を対象とすることができるようにするとともに、運送開始までの時間・労力を大幅に削減することができる。

## 4. 福祉有償運送における「講習」について

### (1) 現状

福祉有償運送において、運転者に義務付けられている講習に、2日間かかる地域があるところ。講習会は年1回のみ実施している地域（団体）においては、時期が合わなければ2日間の講習を遠方まで受講しに行かなければならず、受講者にとって大きな負担。

### (2) 見直しの方法

遠方での講習が1日で終わることとなるよう、例えば福祉に係る講習は、地元の福祉協議会等による講習でも可能とするなど、講習認定要領等を見直す。

### (3) 見直された場合の効果

運転者が確保できれば、要介護者等の利用者が必要な時に必要なサービスを受けることが可能となる。

## 5. 自家用有償旅客運送者の「更新登録」について

### (1) 現状

自家用有償旅客運送者の更新登録手続きにおいて、添付書類が多いなど、運送者の大きな負担に。

### (2) 見直しの方法

効率化の観点から、登録時と変更がない書類は提出を省略できるようにする、登録有効期間を延長するなど、運送者の負担軽減を図る。

### (3) 見直された場合の効果

添付書類の簡略化等がなされれば、ボランティアとして活動しているNPO法人等の運送者の更新登録手続きの負担軽減が図られる。

## 6. 自家用有償旅客運送における「運行管理責任者」について

### (1) 現状

自家用有償旅客運送において、5両以上の車両所持については、運行管理責任者の常駐が義務付けられているため、運行管理責任者の確保が困難、移動制約者等からのニーズに応えるための使用車両の増車ができないなどの支障に。

### (2) 見直しの方法

運行管理者の常駐義務が生じる要件を緩和する。

### (3) 見直された場合の効果

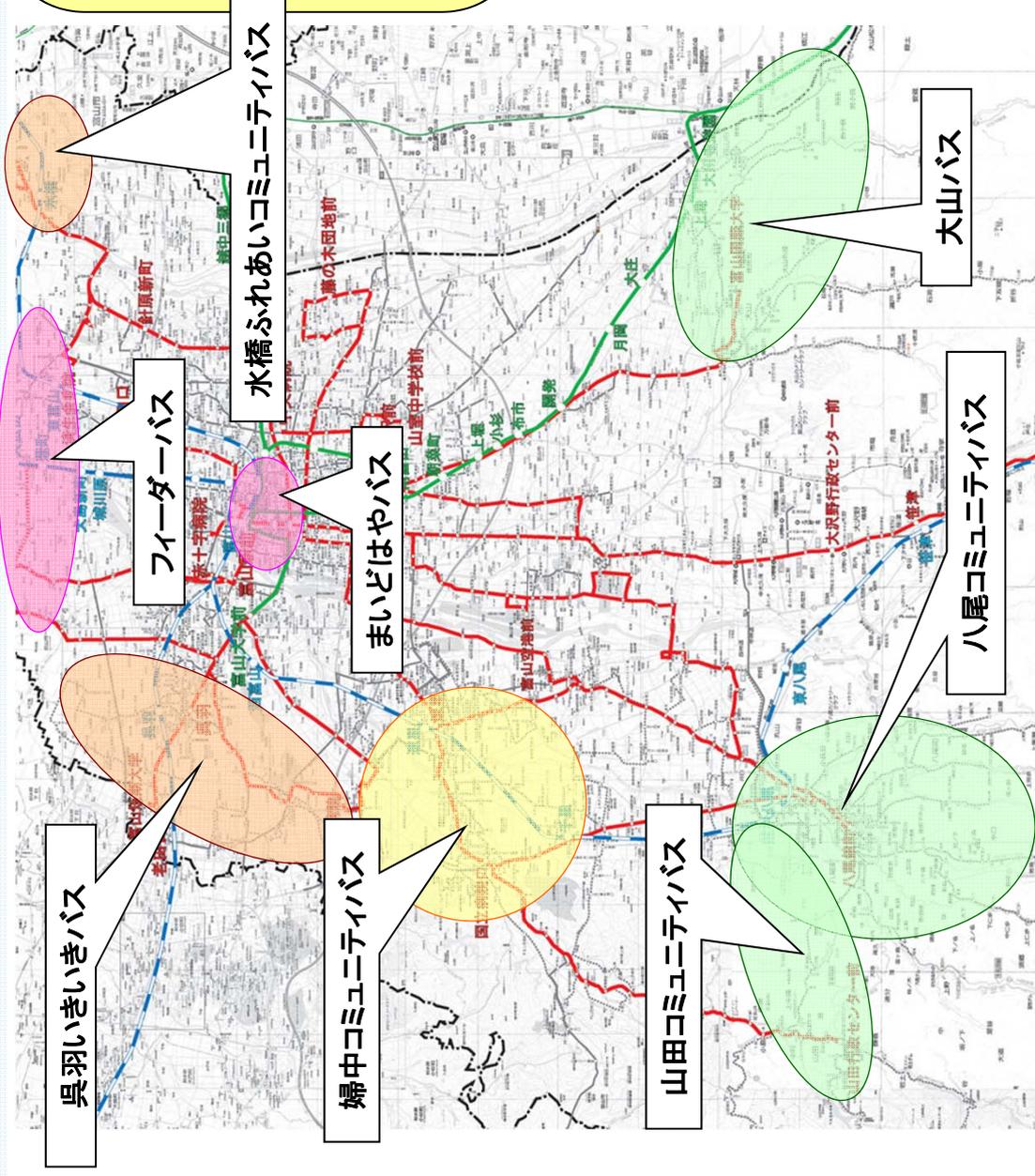
運送者が一定の範囲内で増車ができるようになれば、移動制約者等からのニーズに的確に応えることができるようになる。



# 富山市提出資料

# コミュニティバスの運行

## 都心地区と旧町村等の周辺地区で、コミュニティバスを運行



**市の投入予算**

- コミュニティバス運行経費 (H25年度予算)  
路線数 : 32路線  
市負担額:約256百万円
- 生活バス路線維持 (H25年度予算)  
対象路線数:13路線  
市補助金額:約75百万円

	JR線
	富山ライトレール
	地鉄電車・市内線
	主要バス幹線
	コミバス(市:直営)
	コミバス(市:委託)
	地域自主運行バス
	その他のバス



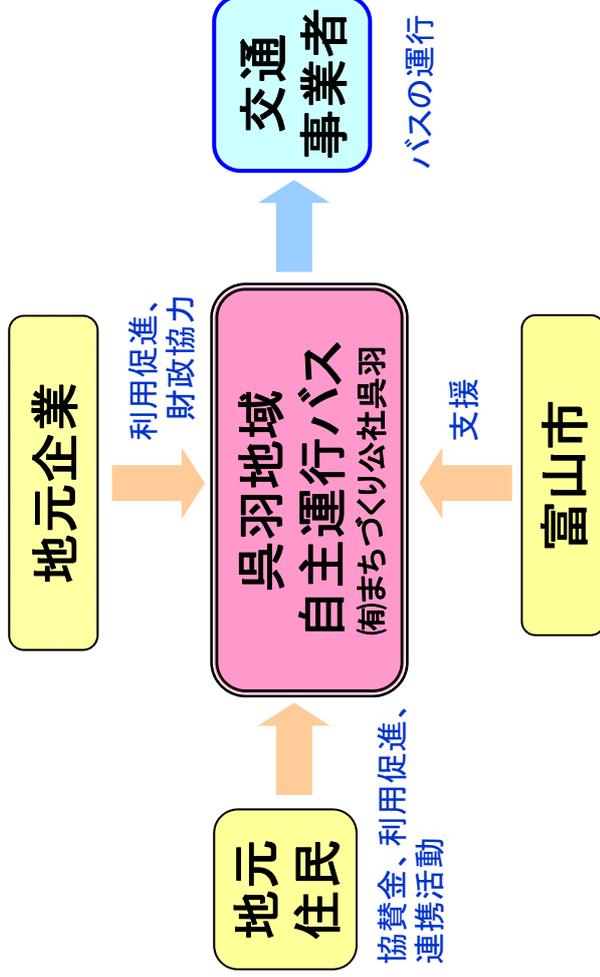
# コミュニティバスの運行 ～ 呉羽いきいきバスの例～



コミュニティバス運行における市の負担を軽減させるため、自主運行を推奨し、地域住民や地元企業が費用の一部を負担する運行を実施

## ■ 役割分担

地元の住民と企業が、市の支援以外に経費を負担



運行経費	運行収入	内 訳
32,840 千円	運賃収入 4,515 千円	- 運賃収入 100円/人
	世帯の協賛 2,680 千円	- 世帯から協賛金 400円/年・世帯 (約7,000世帯)
	企業の協賛 6,485千円	- 地元企業から協賛 金(約90社)
	市の支援 19,160 千円	- 運行経費補助 運行経費の9/20 シビルミニマム補助

※経費はH25年度予算

## ■ H24年度の利用者数

52,191人/年(1日あたり181人/日)

## ■ 運行システム(平成17年4月～)

- 運行ルート: 2ルート
- 運行便数: 20便/日(土曜14便/日)
- 運行時間: 7:12～19:55

# 高齢者運転免許自主返納支援事業



高齢者による自動車事故の減少と公共交通の利用促進を図るため、**運転免許を自主返納された65歳以上の方を対象に、公共交通機関の乗車券等や、運転免許証に代わる身分証明書等の取得費用を支援**

## ■支援内容

### 1. 公共交通機関の乗車券等の交付

- ① 支援券  
(タクシー料金の支払いや  
おでかけ定期券への入金に利用可)
  - ② 富山ライトレールICカード
  - ③ 富山地方鉄道ICカード
- ※いずれか1つ(2万円相当)

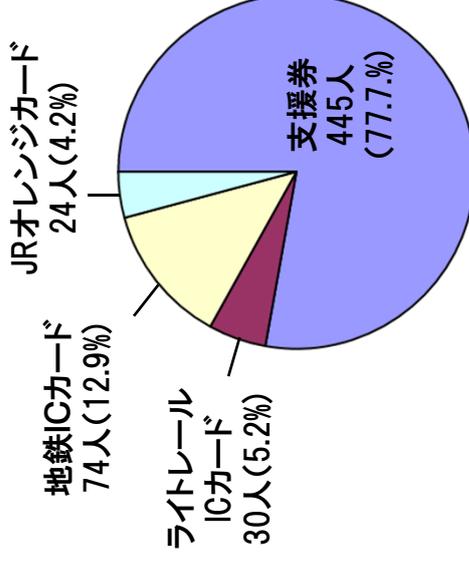
### 2. 身分証明書等の取得費用の支援

- ① 住民基本台帳カード(顔写真付き)
- ② 運転経歴証明書
- ③ おでかけ定期券

※希望される場合、いずれか1つの取得費用を振込支給  
(上限1,000円)

## ■代替交通手段別 人数(割合)

《H24年度申請者の内訳》

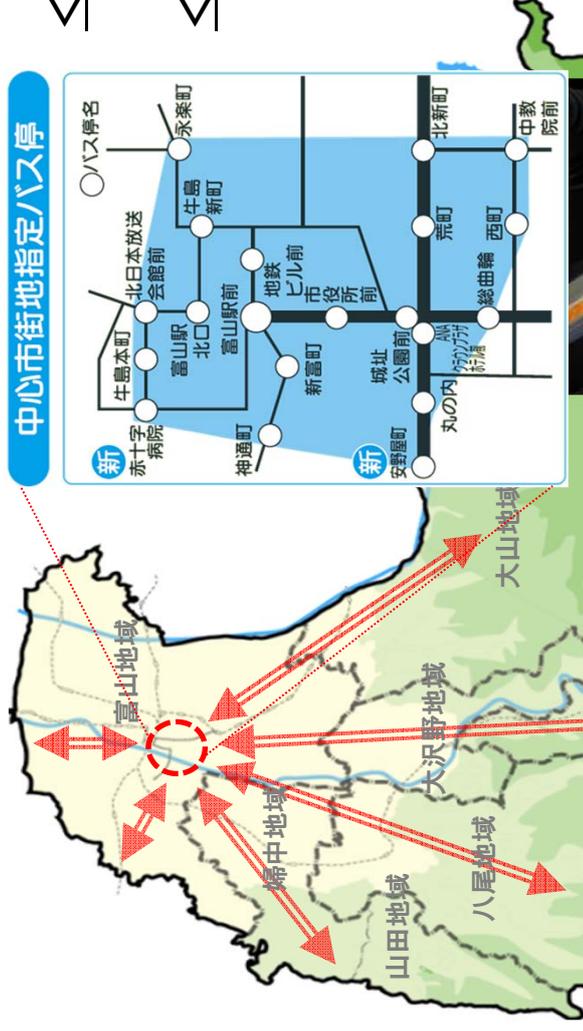


## ■実績(H18.4.1～H25.3.31)

- ・申請者数 3,608人
- ・平均年齢 78.1歳

# おでかけ定期券事業

交通事業者と連携し、65歳以上の高齢者を対象に**市内各地から中心市街地**へ出かける際に**公共交通利用料金を1回100円**とする割引制度を実施  
 高齢者の **約24%**がおでかけ定期券を所有し、1日平均**2,523人**が利用



＜例＞路線バスの利用  
 [猪谷]→[富山駅前]  
 通常運賃：1,130円  
**おでかけ定期：100円**

## ＜おでかけ定期券の申込み＞

65歳以上の方、利用者負担金1,000円

## ＜おでかけ定期券の利用＞

- ①利用時間帯：午前9時～午後5時
- ②利用区間

### 〔路線バス〕

富山市内各地  
 中心市街地等  
 富山市内各地

⇔

中心市街地等の区間  
 中心市街地等の区間  
 富山市民病院の区間

### 〔地鉄電車〕

富山市内各駅

⇔

電鉄富山駅  
 南富山駅

### 〔路面電車〕

市内電車(環状線含む)、富山ライトレール